

# 指標

## 試練の時を乗り越えよう

—平成21年度基本的活動方針—

会 長  
長瀬 清

平成21年3月14日・15日開催の第131回北海道医師会定時代議員会において、引き続き2期目の会長として医師会会務遂行の付託を受けました。難問山積するこの時期に重責を担うことに、強く責任を感じています。幸い常任理事の多くの方が、次期も共に仕事をしてくれますので心強く思っています。

政治、経済は将に混迷の極みにあり、病気に例えるなら瀕死の重症、生死の境にあるようなものです。小泉内閣に操られ、踊らされた市場原理主義は、今見直されようとしています。医師会は一貫してその間違いを主張してきたように、生命を扱う医療には経済原理はなじまないということが、次第に認識されつつあります。

社会保障費を毎年機械的に2,200億円削減するという愚は直ちに止めるべきです。そのために現出された医師不足・偏在に伴った医療の崩壊は、一朝一夕に元に戻すことは不可能です。北海道医師会は病院協会と共同で、多くの医療機関の助けを得て、医師不足に悩む地方の医療機関に手を差し伸べてきました。また、事業として多くの地域に出かけ、地域医療を日夜担って働く地域の先生方と膝つき合わせ意見交換をし、互いに情報を交わし、少しでも役立つ情報を提供できないかと努力をしています。

政府もやっと医師不足を認め、平成21年度より医師養成数の増加に踏み切りました。しかし、効果が現れるまでには、十年の年月が必要です。それまでの間、歯を食いしばって、協力し合い苦境を乗り越えて行かなければなりません。

山積する諸問題に対し、次に掲げる活動方針に従い、具体的項目について、実効ある活動を行って行きたいと決意しています。会員諸先生の絶大なご支援、ご協力を切にお願いいたします。

## 平成21年度基本的活動方針

小泉元首相が残した政治の混乱と、アメリカの金融破綻に端を発した100年に一度と言われる世界的経済不況に巻き込まれた日本国民は、不安のただ中にある。

格差社会を生み出した市場原理主義、規制緩和政策を見直すべき時にある。

平成20年4月われわれの強い支持により再選を果たした日本医師会唐澤執行部は、骨太の方針による年2,200億円に及ぶ社会保障費の機械的削減の撤廃を政界に強く働きかけた。その結果、道路特定財源の一般財源化による交付金等他の財源により手当てし、削減額を後発医薬品使用促進による230億円にとどめた。しかし、これは今年度限りのものであり、今後も粘り強く社会保障費削減の撤廃を求めているなければならない。

高齢化社会を迎えて国民は医療・介護の充実を強く望んでおり、それには医療費削減政策を直ちにやめ、医師不足・偏在、看護師不足の解消と医療・介護施設の整備に力を注ぐ必要がある。

医師不足や住民意識の変化は病院勤務医師の負担を増し、最も重要な救急医療の崩壊に拍車をかけている。解決しなければならない喫緊の課題である。

勤務医に手厚く配したとする昨年の診療報酬改定も、勤務医待遇の改善にまで至っていない。思い切った診療報酬の増額をしなければ改善は不可能であろう。

昨年からはまった後期高齢者医療制度、特定健診・特定保健指導制度は、導入に当たっての説明や準備不足もあって極めて評価が低い。当初の思惑通りに効果が上がるかは今後の成り行きにかかっている。

医師不足に関連しての女性医師の勤務のあり方、市民への医療提供側からの積極的な広報活動、会員に対する福利厚生施策、医療保険に係わる指導への対応、行政対応等医師会として取り組まなければならない問題が各担当部にわたって山積している。これらに対して積極的に解決を図っていく所存である。

新しい公益法人制度が導入され、医師会も今後数年以内に選択を迫られている。クリアしなければならないハードルが高く、簡単には乗り切れそうになく懸念される。また、これを機会に医師会会計の見直しも必要となる。医療機関収入の低下に伴う定率会費の減少や会員の高齢化などにより医師会会計状況の悪化が見られ、収支にわたる工夫が必要となっている。

以上の方針に則り、各担当部は次に掲げる項目につき鋭意活動を行う。

## 平成21年度各部事業項目

### [総務部]

#### 1. 組織強化

- (1) 執行体制の強化
- (2) 各郡市医師会・医育機関医師会との連携強化
- (3) 北海道との連携強化
- (4) 関係諸団体との連携強化
- (5) 「日本の医療を守る道民協議会」の事業活動の推進

- (6) 各種会議等の対応

- (7) 会員活動の支援

- (8) 医師会組織の更なる強化

- (9) 育英資金制度の充実

#### 2. 会務の充実

- (1) 公益法人制度改革への対応

- (2) 諸規程の見直し

- (3) 事務局内の環境整備

- (4) 事務の効率化

### [医療安全部]

#### 1. 生命と倫理の高揚に関する検討

- (1) 医の倫理にもとづいた医療の啓発と自浄作用の強化推進

#### 2. 安全な医療の提供

- (1) 医療安全推進週間への参加

- (2) 医療の質管理の取り組み

- (3) 医療安全研修会の開催

#### 3. 診療情報等の提供

- (1) 医療安全支援センターを中心とした行政・関係団体との連携強化

- (2) インフォームドコンセントの徹底とセカンドオピニオンの推進

- (3) 「診療情報の提供に関する相談窓口」の充実

- (4) 個人情報情報の適正な取扱いに関する指導

#### 4. 医事紛争対策の推進

- (1) 医事紛争の発生予防と適正処理

- (2) リピーター会員への指導強化

- (3) 医師賠償責任保険にもとづいた処理手続きの理解徹底

- (4) 無過失補償制度の推進

#### 5. 医療安全関連法への対応

- (1) 医師法21条「異状死体届出義務」に係る諸問題の検討

- (2) 医療安全調査委員会設置への対応

- (3) 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」への協力

### [医療政策部]

#### 1. 医療政策の研究と提言

- (1) 医療政策実現への活動

- (2) 医療制度改革への対応

- (3) 医療政策等検討委員会の開催

- (4) 地域医療に関わる地域別意見交換会の開催

- (5) 地域医療住民フォーラムの開催および支援

- (6) 医政講演会の開催

- (7) 政経問題懇話会の開催

- (8) 医療政策資料等の整備と活用

- (9) 日本医師会、日本医師会総合政策研究機構等との連携

#### 2. 国民皆保険制度堅持の運動

#### 3. 道州制導入への対応

#### 4. 北海道の保健・医療・福祉政策への提言と施策への対応

- (1) 北海道の地域医療確保対策

- (2) 北海道保健医療福祉計画

- (3) 北海道医療計画

- (4) 北海道医療費適正化計画

- (5) 北海道医療審議会

- (6) 北海道総合保健医療協議会

- (7) 北海道医療対策協議会

- (8) 保健医療福祉圏域連携推進会議

- (9) 保健福祉部との意見交換

#### 5. 郡市医師会医政講演会等への協力

### [医療経営・福利厚生部]

#### 1. 医療経営対策の推進

- (1) 医療経営講習会の開催

- (2) 患者接遇に関する研修会の開催

- (3) 「医師のためのやさしい税務と確定申告」の発行

#### 2. 福利厚生事業の充実

- (1) グループ保険新規加入増強キャンペーンの継続

- (2) 医療経営・福利厚生事業等検討委員会の開催

### [情報広報部]

#### 1. 北海道医師会総合情報システムの充実

- (1) 総合情報システムの効率的な運用と見直し

- (2) 日本医師会医療情報関連事業への参加と協力

- (3) 日医標準レセプトソフト(ORCAプロジェクト)の普及

- (4) 日本医師会テレビ会議システムの活用

#### 2. 広報活動の充実

- (1) 郡市医師会、会員への広報

- (2) 北海道医報の充実

- (3) ホームページ、Eメール等の利活用

- (4) 道民への広報

- (5) 積極的なマスコミ対応

### [医療保険部]

#### 1. 後期高齢者医療制度への対応

#### 2. 保険者機能強化への対応

3. 診療報酬改定に向けての対応
4. 保険医療に関する研修の充実並びに指導への対応
  - (1) 社会保険医療指導委員協議会の開催
  - (2) 社会保険指導者講習会への参加と伝達
  - (3) 保険医療医師研修懇談会の実施
  - (4) 社会保険医療担当者に対する指導への対応
5. 労災、自賠責保険の改善
  - (1) 労災・自賠責保険医療等改善対策委員会の開催
  - (2) 自賠責新基準に関する損保協会・損害保険料率算出機構との連携強化、北海道自動車保険医療連絡協議会の開催
  - (3) 労災保険に関する労働局・労災保険情報センター・労災保険指定病院協会との連携強化、労災四者懇談会の開催
6. 医療保険事務講座等の充実
  - (1) 健保請求事務講座の開催
  - (2) 健保請求事務研修会の開催

#### [地域保健部]

1. 北海道健康増進計画への対応
2. 生活習慣病対策の推進
  - (1) 特定健康診査・特定保健指導対策の推進
  - (2) 4大疾病対策の推進
  - (3) 糖尿病対策推進会議の開催
3. 感染症危機管理対策の充実と情報提供
4. 母子保健・乳幼児保健対策の推進
  - (1) 子ども支援日本医師会宣言の推進
5. 環境保健対策の推進
  - (1) 食品安全対策の推進
  - (2) 感染性廃棄物対策の推進
6. 精神保健対策の推進
7. 学校保健対策の推進
  - (1) 学校健康教育活動の推進
  - (2) 学校保健委員会活動の推進
8. 学校検診事業の推進
  - (1) 学校心臓検診事業の推進
  - (2) 眼科・耳鼻咽喉科専門医検診率の向上
9. 北海道学校保健研究大会への参加協力
10. 北海道学校保健会事業に対する支援協力

#### [地域福祉部]

1. 地域ケア体制への対応
  - (1) 療養病床再編に関する諸問題
  - (2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画
2. 介護保険制度並びに障害者自立支援制度への対応
  - (1) 郡市医師会との連携強化
  - (2) 主治医サポート事業の実施
    - 1) かかりつけ医認知症対応力向上研修
    - 2) 介護保険制度にかかわる主治医研修会

- 3) 障害者自立支援法にかかわる主治医研修会
- (3) 施設整備検討会議への参画
- (4) 全国会議・研修会等への参加
- (5) 介護保険関連情報の収集と提供
- (6) 人材養成への支援
3. 福祉関係団体との連携
4. 北海道総合在宅ケア事業団等への協力

#### [産業保健部]

1. 産業保健活動の推進
  - (1) 産業保健活動推進委員会の開催
  - (2) 北海道産業保健活動推進協議会の開催
  - (3) 郡市医師会産業保健活動への助成
  - (4) 労働安全衛生コンサルタント会との連携
  - (5) 北海道産業保健推進センターとの連携
  - (6) 日本産業衛生学会北海道地方会との連携
  - (7) 地域産業保健センター連絡協議会の開催
  - (8) 産業保健活動推進全国会議への参加
  - (9) 産業医と精神科等専門家とのネットワークシステムの構築
2. 産業医研修事業の実施
  - (1) 北海道補助事業
    - 1) 産業保健研修会の開催
    - 2) 産業医学振興財団受託事業
      - 1) 産業医基本研修会の開催
      - 2) リフレッシュ研修会の開催
      - 3) 特定科目専門研修会の開催
      - 4) リーダー研修会の開催
  - (3) 日本医師会認定産業医の登録と単位管理
  - (4) 各種研修会等の情報提供
3. 健康スポーツ医活動の推進
  - (1) 健康スポーツ医学の推進
  - (2) 日本医師会認定健康スポーツ医の登録と単位管理
  - (3) 健康スポーツ医学再研修会の開催
  - (4) 健康スポーツ医学推進委員会の開催
  - (5) 健康スポーツ医等の連携

#### [救急医療部]

1. 救急医療体制の確保
  - (1) 休日夜間診療確保対策事業の推進
  - (2) 救急医療対策部会の運営
  - (3) 小児救急への対応
    - 1) 小児救急地域医師研修事業の推進
  - (4) I C L S (A C L S 基礎) 研修会の実施
  - (5) メディカルコントロール体制への支援と協力
  - (6) ドクターヘリの導入促進
2. 救急医療施設の連携の推進
  - (1) 救急医療機関の連携強化
  - (2) 道内急病センター(診療所)連絡会の開催
  - (3) 災害拠点病院連絡協議会への協力
3. 災害時医療救護体制の確保

- (1) 北海道防災会議への参画
- (2) 北海道防災総合訓練ほか各種訓練と研修会への参加
- (3) 災害時医療体制の整備
- (4) 日本医師会との連携
4. 北海道救急医療・広域災害情報システムへの協力
5. 救急業務関係者を対象とした研修会の開催
6. 道民への啓発活動の推進
  - (1) 救急医療フォーラムの開催および支援
  - (2) 救急の日事業
  - (3) AEDの普及と啓発
  - (4) パンフレット・冊子等の制作と頒布

#### [医療関連事業部]

1. 病院運営対策の推進
  - (1) 病院管理研修会の開催
  - (2) 北海道病院団体懇談会の開催
2. 医師会共同利用施設への支援と協力
3. 勤務医への支援
  - (1) 勤務医の加入促進
  - (2) 勤務医部会の運営
  - (3) 勤務医懇談会の開催
4. 女性医師への支援
  - (1) 女性医師の勤務環境整備に関する講習会の開催
  - (2) 女性医師サポート事業の推進
  - (3) 女性医師バンクへの支援
  - (4) 第5回男女共同参画フォーラム開催(日本医師会主催)への協力
5. 医療関連専門職種との連携
  - (1) 医療・福祉関係職団体等懇談会の開催
6. 看護要員の養成と確保
  - (1) 医師会立看護師等養成施設への支援
  - (2) 高等学校進路指導担当教員等への説明会の開催
  - (3) 医師会立准看護学校連絡協議会の開催
  - (4) 潜在看護師の再就業支援
  - (5) 看護の日・看護週間への支援と協力

#### [学 術 部]

1. 日本医師会生涯教育講座・北海道医師会認定生涯教育講座の開催
  - (1) 直轄講座の開催
  - (2) 日本医師会生涯教育協力講座セミナーの実施

- (3) 郡市医師会・全道規模専門医会単独主催講座に対する助成
- (4) 郡市医師会等各種団体主催講座の認定と受講証の発行
2. 自宅学習環境の整備および評価事業
  - (1) 生涯教育シリーズの連載と合本
  - (2) 生涯教育用ビデオの貸出
3. 学会および教育・研究機関との連携
  - (1) 医学会開催に対する助成
  - (2) 道内三大学病院研修登録医(臨床登録医)制度への協力
  - (3) 新医師臨床研修制度への協力、指導医ワークショップの開催
4. 北海道医学大会の開催
5. 北海道医師会賞の贈呈

#### [健康教育事業部]

1. 予防医学に関する情報の収集と提供
  - (1) 生活習慣病予防研修会の開催
  - (2) 関係諸団体との連携
  - (3) ホームページの充実
2. 喫煙防止・禁煙対策の推進
  - (1) 喫煙防止・禁煙に関する講演会等の開催
  - (2) リーフレットによる情報の提供
  - (3) 北海道禁煙週間実行委員会への参画
  - (4) 第4回日本禁煙学会総会(札幌開催)への参加と協力
3. 青少年への健康教育の推進
4. 郡市医師会健康教室開催への支援
5. テレビやポスター等を利用した健康情報の提供
6. 北海道健康づくり実行委員会への参画
  - (1) 「ねんりんピック北海道・札幌2009」健康フェア等への協力

#### [財 務 部]

1. 会計・経理
  - (1) 公益法人会計基準の改正等への対応
  - (2) コンピュータによる会計システム導入の検討
  - (3) 資金の安全な運用
  - (4) 計画的特定積立預金の確保
2. 会館および付属設備の管理運営
  - (1) 中長期保全計画の再検討
  - (2) 優良テナントの維持
  - (3) 万全な保守整備